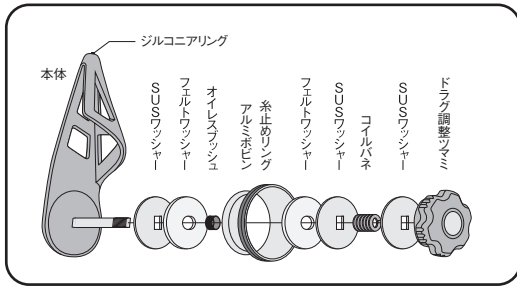


ポビンワインダー SHIMANO

取扱説明書

この度はシマノ ポビンワインダーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を熟読され、末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。
■製品改良のため、仕様及びデザインの一部を予告なく変更する事がありますのであらかじめご了承ください。



- 注意**
- 使用後は子供、または幼児の手の届かない所に保管してください。
 - 釣り以外の目的に使用しないでください。
 - 直射日光を避け温度変化の激しくない所で保管してください。
 - 火気のそばや真夏の車内など、高温所に放置すると、変形のトラブルを起こし、初期性能を維持できなくなる場合があります。
 - ポビンワインダーでノットを作る際は、付属の取扱説明書またはシマノHPを確認下さい。
 - 使用中は製品が飛んで怪我をする恐れがあります。ポビンの糸巻量、糸止めリングの状態を確認し、身体に当たらないよう注意して下さい。
 - ご使用後は水洗いの上、乾燥させて保管下さい。
 - メンテナンスの際には弊社「リールグリスプレー」をフェルトワッシャーに含ませてお使い下さい。

株式会社 **シマノ** 釣具事業部
 本社: 〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地
 ● 商品の性能、スペック、カタログ、イベントや商品の修理、パーツなどアフターサービスなどに関するお問い合わせ
0120-861130 (フリーダイヤルをご利用できない方は072-243-8538 (有料))
(ハローイサオ)
 受付時間: AM9:00~12:00/PM1:00~5:00 (土・日・祝日を除く)
 ■ シマノホームページ: アドレスは <http://www.shimano.com> です。
 新製品情報・気象情報・釣り情報などフィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。
 また、カタログのお申し込みも受け付けています。

MADE IN JAPAN IM-TH201M

<p>①</p> <p>ポビンワインダー先端からPEラインを通します。</p>	<p>②</p> <p>PEラインを引き出し、糸止めリングの間に巻きつけます。</p>	<p>③</p> <p>糸止めリング部分を回して15~20回ほどポビンに巻きつけます。 ※注: この時巻く量が少ないと巻きつけ工程でラインがなくなり、ポビンワインダーが飛んでケガをする恐れがあります。巻きつけ時はネジの脱落にご注意下さい。</p>	<p>④</p> <p>ドラッグ調整ソマミを回して適正なテンションになるようにセッティングします。</p>	<p>⑤</p> <p>リーダーとPEラインを30cmほど重ねます。</p>	<p>⑥</p> <p>リーダーとPEラインを右手中指へ3~4回巻き付け、緩まないように親指で押さええます。</p>
<p>⑦</p> <p>リーダーへPEラインを7~10センチ程粗巻きします。</p>	<p>⑧</p> <p>リーダーを左手中指に3~4回巻き付けて固定した後、ポビンを回し、ポビンワインダー先端とリーダーが接した状態にします。</p>	<p>⑨</p> <p>製品先端がリーダーに接した状態を維持しながら⑧と反対方向へ巻きつけていきます。 ※注: 使用中は製品が飛んで怪我をする恐れがあります。スピールの糸巻量、糸止めリングの状態を確認し、身体に当たらないよう注意して下さい。</p>	<p>⑩</p> <p>PEラインは7~10センチ程巻きつけます。 ※注: 目安の長さですので、これ以上巻きつけたい場合は③での巻きつけ回数を増やして下さい。</p>	<p>⑪</p> <p>ラインの交差部を指で押さえ、ポビンから残りのラインを抜き出します。もしくは30cmほど抜き出して残りのラインをカットして下さい。</p>	<p>⑫</p> <p>リーダーとPEライン(本線)をハーフヒッチで束ねるように編み込みます。ハーフヒッチの際はリーダーとPEラインの本線をしっかりと張ってください。</p>
<p>⑬</p> <p>ハーフヒッチは1回ごとにしっかりと締めこんでください。</p>	<p>⑭</p> <p>交互にハーフヒッチを4回以上行ってください。</p>	<p>⑮</p> <p>リーダーは2~3mm残してカットして下さい。</p>	<p>⑯</p> <p>リーダーの先端をライターで焼いてコブを作ります。その際に、PEラインに熱が伝わらない様にご注意下さい。</p>	<p>⑰</p> <p>ハーフヒッチを続けてリーダーのコブの所まで編み込みます。</p>	<p>⑱</p> <p>リーダーとPEライン(本線)を束ねる編み込みが完成します。</p>
<p>⑲</p> <p>PEライン(本線)へPEラインの余りをハーフヒッチで編み込みます。</p>	<p>⑳</p> <p>編み込んだPEラインがホグれないようにエンドノットを施し、先端を2~3mm残してカットします。</p>	<p>㉑</p> <p>カットした部分のPEラインを焼きます。本線のPEラインに熱が伝わらない様にご注意下さい。</p>	<p>㉒</p> <p>ポビンノットの完成。</p>	<p>ポビンノット作成方法はシマノホームページ内、製品紹介/ラインラボページでもご確認いただけます。</p>	